

2019

姉妹都市教育交流事業研修報告書

『 Sister City Education Exchange Project 』

Report on the Student Delegation to Encinitas



天草市教育委員会



# — 目 次 —

## ■ 姉妹都市交流の経緯・姉妹都市の概要

---

P 1

## ■ 研修日程

---

P 2

## ■ 研修感想文

---

- |   |        |      |        |      |
|---|--------|------|--------|------|
| 1 | 本渡中学校  | (3年) | 藤田 真歩  | P 4  |
| 2 | 本渡中学校  | (2年) | 松本 華英  | P 8  |
| 3 | 本渡東中学校 | (3年) | 寺田 雄大  | P 13 |
| 4 | 稜南中学校  | (3年) | 濱 翔音   | P 18 |
| 5 | 牛深中学校  | (3年) | 北村 晋太郎 | P 23 |
| 6 | 牛深東中学校 | (3年) | 山口 桃子  | P 28 |

## ■ 引率総括

---

《引率教員》 御所浦中学校 教諭 古田 直美 P 34

## ■ 写真

---

P 53

## エンシニータス市（カリフォルニア州）の概要

### ◆ 位置、気候

アメリカ合衆国の西海岸に位置し、年間の均気温は 22 度と温暖で、年間を通して雨が少なく（年間降雨量は 230 ㍉程度）、非常に過ごしやすい気候です。一方、雨が少ないので水の確保が一番の問題であり、大半は北カリフォルニア川ウォータープロジェクト、コロラド川用水路やホッジ湖などから供給されています。

（天草市は、年間平均気温は 16.2 度、年平均降水量は 1,915 ㍉程度）



### ◆ 人口

人口は、約 63,000 人（天草市は、約 80,370 人：H31.4 末現在）で、西海岸の中心都市ロサンゼルス市から南へ約 160 k m、南のサンディエゴ市から北へ約 40 k m 程度の距離にあり、静かな住宅地として人気が高いところです。

### ◆ 産業

農業が主体で、ハウス栽培による菊・百合のほか、特産のポインセチアなどが栽培されており、ロサンゼルスやニューヨークをはじめ、世界各国へ出荷されています。



### ◆ 商業

新興都市であるため店舗は意外と少なく、海岸通りに面した道路に衣料品店、レストランなどがあります。内陸の方には大きなスーパーがあり、食料品からすべて整っています。



### ◆ 観光

カリフォルニア有数のサーフスポットとして名高い「Swami's Beach」があります。サーフィン文化が色濃く、年間を通じて多くのサーフコンテストが開催されます。



ロサンゼルスなどの大都市に比べて治安状態が良く、落ち着いた町で、市民の心の豊かさ、温かさを感じとることができます。天草市とエンシニータス市とは、これまで培われてきた長い歴史の中で、海に面した自然環境や落ち着いた住宅街など、よく似た環境であると言えます。

Summer 2019 Amakusa Student Delegation Itinerary

2019 天草市派遣団日程

Monday, July 29

7:00am Depart Amakusa by taxi for Fukuoka Airport  
 11:30pm Arrive at Fukuoka Airport  
 1:40pm Depart Fukuoka by NH2144 for Narita International Airport  
 4:30pm Arrive at Narita International Airport  
 5:00pm Depart Narita by NH006 for Los Angeles Intl' Airport  
 ~ the international date line ~  
 11:25am Arrive at Los Angeles Intl' Airport  
 Depart for City Hall  
 3:30pm Delegation arrive at City Hall  
 4:00pm-4:30pm Welcome reception(Poinsettia Room)  
 Meet host families, Host families take home

7月29日(月)

午前 7:00 ジャンボタクシーにて福岡空港へ出発  
 午前 11:30 福岡空港到着  
 午後 1:40 NH2144便にて成田国際空港へ出発  
 午後 4:30 成田国際空港到着  
 午後 5:00 成田空港よりNH006便にてロサンゼルス空港へ出発  
 ~ 日付変更線 ~  
 午前 11:25 ロサンゼルス国際空港到着  
 専用車にてエンシニータス市役所へ出発  
 午後 3:30 エンシニータス市役所到着  
 午後 4:00-4:30 歓迎レセプション  
 ホストファミリーと対面、ホストファミリー宅へ

Tuesday, July 30 -Meet the Mayor and Downtown Encinitas-

1:00pm-2:15pm City hall visit and meet the Mayor  
 2:30pm-4:45pm Walking tour of downtown Encinitas  
 including Self Realization Fellowship Meditation Gardens  
 meet editor of Encinitas Magazine and pick up copies  
 Boat Houses, Original School House  
 GELATO 101/gelato and boba tea  
 5:00pm Host families pick up at City Hall

7月30日(火)

午後 1:00-2:15 市役所訪問、市長面談  
 午後 2:30-4:45 エンシニータスの街中を徒歩散策  
 ・セルフ・リアリゼーション・ガーデンズ  
 ・エンシニータスマガジンの編集者と面談  
 ・ボートハウス、オールドスクール  
 ・GELATO 101 (ジェラート、タピオカ)  
 午後 5:00 ホストファミリーが市役所に迎えにくる

Wednesday, July 31 -Free Day with Hosity Families-

7月31日(水) ホストファミリーと終日過ごす

Thursday, August 1 -Surfing and Horses-

9:00am host families drop off at City Hall  
 9:45am Little Oaks Equestrian Park horse ride  
 11:30am Lunch at In-N-Burger Encinitas  
 1:15pm Surf lessons at Moonlight Beach  
 4:00pm Coffee/tea at Pannikin Coffee  
 (host families pick up from there)

8月1日(木)

午前 9:00 ホストファミリーに市役所に送ってもらう  
 午前 9:45 乗馬公園で乗馬  
 午前 11:30 ランチ (イン・アンド・アウト・バーガー)  
 午後 1:30 サーフィン体験 (ムーンライトビーチ)  
 午後 4:00 Pannikin Coffeeで休憩  
 (ホストファミリーはそこに迎えに来る)

**Friday, August 2 -Volleyball and Hike-**

9:00am host families drop off at City Hall  
10:00am-11:30pm beach volleyball clinic at Moonlight Beach  
0:00pm Take a commemorative photo in front of Cardiff Cook Stature  
0:30pm Lunch at Besta Wan Pizza Cardiff  
2:30pm-3:30pm Cantabria Gardena Trail hike in San Marcos  
4:00pm return to City Hall  
Host families take home

**8月2日(金)**

午前 9:00 ホストファミリーに市役所に送ってもらう  
午前10:00-11:30 ビーチバレー講習会(ムーンライトビーチ)  
午後 0:00 カーディフ クック像前で記念撮影  
午後 0:30 ランチ(Besta wan Pizza)  
午後 1:30-3:30 カンテブリアでハイキング  
午後 4:00 市役所に戻る  
ホストファミリー宅へ

**Saturday, August 3 -Japan Festival and Sendoff-**

Free day with host family  
1:00pm Japan Festival at Library  
5:30pm-7:00pm Pot Luck Dinner and party at Village Park clubhouse

**8月3日(土)**

ホストファミリーと自由に過ごす  
午後 1:00 ジャパンフェスティバル(図書館)  
午後 5:30-7:00 お別れ夕食会

**Sunday, August 4 -Depart for Los Angeles and Amakusa-**

9:00am After breakfast, Host families drop off at City Hall  
9:30am Delegation leaves for Los Angeles  
Sightseeing after arrival at Los Angeles  
(Universal Studios Hollywood, Little Tokyo etc.)  
8:00pm Delegation arrives at Hotel at Los Angeles

**8月4日(日)**

午前 9:00 ホストファミリーに市役所に送ってもらう(朝食後)  
午前 9:30 専用車にてロサンゼルスへ向け出発  
ロサンゼルス到着後、市内観光  
(ユニバーサル・スタジオ・ハリウッド、リトル東京など)  
午後 8:00 ロサンゼルス市内ホテル到着

**Monday, August 5**

9:00am After breakfast at hotel transfer to Los Angeles Airport  
(Buy a souvenir on the way to Airport)  
11:30am Arrive at Los Angeles Intl' Airport  
1:10pm Departing Los Angeles by NH005 for Narita

**8月5日(月)**

午前 9:00 専用車にてロサンゼルス国際空港へ出発(朝食後)  
(途中スーパー等に立ち寄り)  
午前11:30 ロサンゼルス国際空港到着  
午後 1:10 NH005便にて成田空港へ出発

**Tuesday, August 6**

4:00pm Arrive at Narita Intl' Airport  
5:50pm Departing Narita by NH2145 for Fukuoka  
8:30pm Arrive at Fukuoka Intl' Airport  
8:50pm Depart on taxi for hotel in Fukuoka  
9:20pm Arrive at hotel

**8月6日(火)**

午後 4:00 成田空港到着  
午後 6:15 成田空港よりNH2145便にて福岡空港へ出発  
午後 8:30 福岡空港到着  
午後 8:50 ジャンボタクシーにて福岡市内ホテルへ  
午後 9:20 福岡市内ホテル到着

**Wednesday, August 7**

9:00am Depart hotel by taxi for Amakusa City Hall  
1:50pm Arrive at Amakusa City Hall

**8月7日(水)**

午前 9:30 ジャンボタクシーにて天草へ出発  
午後 1:50 天草市役所到着

## 『エンシニタス市へのホームステイを終えて』

本渡中学校 3年 藤田 真歩

私は 10 日間、天草市姉妹都市交流事業でアメリカのエンシニタス市へ行きました。この事業を通して、海外の人の優しさに沢山ふれることができました。

7月29日（1日目）

成田空港で出国審査を済ませ、ロサンゼルス空港行きの飛行機に乗りました。飛行機の中は、思っていたよりも日本人が多かったです。約 10 時間後、ロサンゼルス空港につき、とても緊張しました。空港はとても広く、アナウンスはすべて英語で全く聞き取ることができませんでした。

入国審査は、指紋をとったり、顔写真を撮影したりするだけで、審査官の人とやり取りをすることはありませんでした。でもその後、もう一度審査がありました。そこでは、色々なことを質問されました。私は、なかなか答えることができず少し不安になりました。

空港から車でエンシニタス市へ向かいました。エンシニタス市へ向かう途中、マクドナルドに寄りました。そこでは自分で注文し、初めてドルで買い物をしました。日本のマクドナルドと比べ、量が多かったです。

エンシニタス市までは車で約 1 時間半ぐらいでした。車の窓からは、日本と違い草のあまり生えていない平原が見えました。

エンシニタス市に着くと市役所の方が迎えてくれました。エンシニタス市は海に近い町でとても涼しかったです。市役所の方々は、クッキーでおもてなしをしてくれました。市長さんに会い、リュックサックと水筒、T シャツをもらいました。その後、みんなでホストファミリーと写真を撮りました。

私のホストファミリーは、お父さん、お母さん、10 歳の男の子と 11 歳の女の子、お祖父ちゃん、お祖母ちゃんの 6 人家族で、お母さんの Catherine（キャサリン）は、エンシニタス市の市長さんでした。また、家にはヘルパーさんが来ていて料理や洗濯、掃除などをしていました。ホストファミリーの家でみんなと会った時、ちゃんと話せるか不安でした。自分から話せずにいるとみんなが自己紹介をしてくれました。私も自己紹介してみんなと握手をしました。みんなとてもやさしく接してくれて不安はなくなりました。



みんなと挨拶をした後、日本のお土産を紹介しました。お土産の中でも特にお箸と折り紙が喜ばれました。お箸は、夕食のときにみんなで使いました。また、折り紙はホストファミリーの女の子の Ava（エヴァ）と男の子の Oliver（オリヴァ）と一緒に鶴や鬼の面などを折りました。オリヴァは、手裏剣を気に入ってくれました。



夕食では、エヴァが料理教室で作った日本食が出てきました。その中でマグロ丼の中にアボカドが入っていて驚きました。

#### 7月30日（2日目）

朝からヨガをしました。近所の人たちが週に1回集まって行っているのに参加しました。朝から体を動かして気持ちよかったです。朝食は、お祖父ちゃんの Richard（リチャード）とお祖母ちゃんの Tricia（トレシャ）と一緒に食べました。その時、日本はどこにあるのか聞かれたので地球儀を使って「ここだよ。」と教えると喜んでもらえました。自分の英語が伝わってうれしかったです。その後、トレシャに庭を案内してもらいました。庭には日本にない植物があり、果物などを食べさせてもらいました。

お昼から、ダウンタウンを案内してもらいました。信号を待っているときに押しボタンを見つけ、押しました。すると、押しボタンに「wait」と言われました。音で知らせてくれるので親切だなと思いました。ジェラートを食べ、市役所に戻り、ホストファミリーと一緒に帰りました。

帰ったあと、トレシャとエヴァと一緒にマウンテンバイクで公園に行き、エヴァと一緒に遊具で遊びました。遊具の下はふかふかでとても安全だと感じました。

#### 7月31日（3日目）

この日は、車でオーシャンサイドに行き、Pier View Way という栈橋を歩きました。長い海岸が広がっていて、サーフィンをしている人がたくさんいました。栈橋の先には、Ruby's という眺めのいいレストランがあり、昼食を食べました。とてもボリュームがあり全て食べることはできませんでした。

お昼からエヴァの通っている料理教室へ行きました。その料理教室には、小さい子供たちが多く通っていました。その日は、パスタとピザを作りました。作り方の説明が全て英語だったのでなかなか聞き取ることができませんでした。パスタは夕食で食べました。おいしかったです。夕食のとき、リチャードと日本文化について話



しました。リチャードは、日本のことをたくさん知っていてびっくりしました。

#### 8月1日（4日目）

この日は朝、みんなで乗馬をしました。馬の上は思っていたよりも揺れて怖かったです。お昼からは、サーフィンをしました。海に入ってサーフボードの上に立つのは、バランスが取れず難しかったです。その後、みんなでカフェに行きました。私は、マフィンを食べました。日本のものと違う独特な味でした。

ホストファミリーの家に帰ると、ホストマザーが私たちの記事が載った新聞を見せてくれました。私たちのことが書いてあってうれしかったです。

#### 8月2日（5日目）

朝からオリヴァの小学校へ行きました。小学校は日本の学校に比べて小さかったです。

この日は、ビーチバレーをしました。2チームに分かれて試合を行いました。私たちのチームはなかなか勝てず悔しかったです。その後みんなでピザを食べました。出てきたピザは想像以上に大きくてびっくりしました。

出てきたピザには野菜のピザや辛いピザなど色々な種類があり、どれもおいしかったです。

お昼はハイキングへ行きました。少し歩くと、とてもきれいな景色が見えました。その後、しばらく歩いて公園に行きました。そこでみんなで遊びました。帰っているとき、道の途中でリスを見かけました。とてもかわいかったです。

夜は、タコスを食べました。今まで味わったことのない味でした。夕食後、エヴァとオリヴァとプールで遊びました。家に大きなプールがあって驚きました。

#### 8月3日（6日目）

朝、ホストファミリーの4人とお別れをしました。「来てくれてありがとう」と言われとてもうれしかったです。みんなと別れるのはとても悲しかったです。



みんなと別れた後、トレシャとサイクリングに行きました。エンシニタスの街には坂が多く、きつかったけど坂の上からの眺めはとてもきれいでした。

昼食は、トレシャとリチャードと一緒に食べました。食事の後、お米の洗い方を教えました。お米は洗ったほうがいいというので驚いていました。

お昼から、図書館で行われているジャパニーズフェスティバルに参加しました。図書館には、日本のアニメのコスプレをしている人がいました。私は浴衣を着て、ステージで習字をしました。



ジャパニーズフェスティバルの後、公園でパーティーをしました。みんなでホストファミリーとサッカーなどを行いました。とても楽しかったです。

明日、お別れをしなければならないのはとても悲しいなと思いました。

8月4日（7日目）

市役所でホストファミリーとお別れをしました。友達のホストファミリーに手紙をもらい思わず泣いてしまいました。とても悲しかったです。

みんなとお別れをした後、ハリウッドとユニバーサル・スタジオ・ハリウッドへ行きました。

私は、今回のホームステイでたくさんのかんじました。例えば、日本との環境への意識の違いです。普通のスーパーでレジ袋をもらっている人は少なく、お土産店で買い物をした時には有料で何度も使えるようなものがありました。エコに対する配慮も日本と違うことかんじました。その他にも日本と同じところ、違うところに沢山気が付くことができました。また、それと同時に日本の文化に興味を持っている人が多いこともかんじました。多くの方が日本の文化に興味を持っていてうれしかったです。

私は今回、家族や学校の先生、市役所の方々のおかげでとても貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございました。

この姉妹都市交流事業で沢山の人と接することができました。これから、この経験を生かして積極的に海外の人と接していきたいです。

## 『 エンシニタス市の交流事業の思い出 』

本渡中学校 2年 松本 華英

私は今回アメリカ、エンシニタス市へ10日間、天草市姉妹都市交流事業に参加しました。

### 【1日目】

出発当日、私はすごくワクワクしながら福岡空港に到着し、空港で昼食を済ませ、東京の成田空港まで向かいました。成田空港でしばらく店などを見て暇をつぶし、それから、大きな飛行機に乗りました。飛行機の中には長時間、たくさんの人がいて、きつかったです。映画を見たり、寝たりして、約12時間、飛行機の中に過ごしました。

アメリカのロサンゼルス空港では、入国手続きや荷物を取って、空港を出ました。空港を出た時は、凄く外が、涼しく感じました。タクシーでエンシニタス市の市役所へ出発しました。エンシニタス市の市役所に行く途中、アメリカのハンバーガーショップ、マクドナルドに行きました。アメリカのハンバーガーはすごく大きく、ジュースもSサイズを頼んだのもかかわらず、天草にあるマクドナルドのLサイズぐらいの量で驚きました。さすがアメリカだなあ、と思いました。



エンシニタス市役所では、市長さんもホストファミリーも、みんな私たちを歓迎してくれて、凄く嬉しかったです。また、エンシニタス市について、たくさん教えてくれました。市役所の人からは、一人一人の名前が付けてあるカバンと水筒を頂きました。

私のホストファミリーは、お父さん、お母さん、私の年齢より2つ上のお姉さん、1つ下の妹さんと7つ下の妹さんがいました。市役所を背にホストファミリーみんなで写真を撮り、たくさんのお話をすることが出来ました。写真を撮った後、すぐに近くの海へ行きました。

アメリカの海は、日本の天草の海と違って、凄く波が高く、サーフィングをしている人が多かったです。また、ゴルフ場も見えて、小さな子供が遊べる公園もありました。

ホームステイ宅へ行った日はちょうどホストマザーの誕生日で、ケーキぐらいの大きさの大きいプリンにろうそくを立てて、お祝いしました。プリンの味は、とて

もおいしくて、甘かったです。ホームステイ先の庭にはたくさんのニワトリ、猫や犬がいて、プールもありました。ホストファミリーみんなでプールに入り、楽しみました。

アイスの店にも行きました。アイスもハンバーガー同様にSサイズを頼んだのに、日本でのLサイズぐらいの巨大アイスが来て、驚きました。

### 【2日目】

2日目の朝は、スターバックスに行き、凄く甘いピーチティーを飲みました。その後、近くのパーティーショップに行き、天草の友達のためにお土産をたくさん買いました。ホストファミリーとお土産の話をしていて、面白いと感じた髪を染めるスプレーも買いました。一時的にオレンジ色と金色に染まるスプレーで、現地でホストファミリーと共に楽しみました。

昼からは、エンシニタス市役所に行き、市役所内の見学と、市の街探検をしました。歴史のある古い学校にも行きました。とても興味深かったです。エンシニタス市の道は、花や植物が沢山あり、街の人もとても優しくて挨拶してくれる、とても素敵な街だという事が良くわかりました。街探検が終わった後、みんなで、タピオカを飲みました。アメリカでは、タピオカの事をポバというそうで、驚きました。

昼食はサブウェイという店で、サンドイッチを食べました。そして、ホストファミリーに3時間以上もかかるカリフォルニア州にある野球のスタジアムへ連れて行って頂きました。スタジアムでは日本人メジャーリーガー、大谷翔平選手のヒットも見る事が出来て、凄く興奮して、スタジアムは大いに盛り上がりました。

帰りは電車で帰りました。電車の中で、ホストファミリーのみんなと日本円の100円玉でテーブルサッカーをして楽しみました。電車を出る頃には、もうすでに夜中の0時を過ぎていました。ハンバーガー屋のドライブスルーで夕食のハンバーガーを食べ、最終的に家に帰ったのは、次の日になった午前1時45分ぐらいにたどり着きました。

### 【3日目】

3日目は、昼からホストファミリーと、アジアタウンに行きました。アジアタウンでは、日本の店や食堂がありました。私はアジアタウンの食堂でそばを食べました。ホストファミリーのみんなはちゃんぽんやうどん、ラーメンなどを食べていました。味は少し、日本のそばとは異なる食べ物でしたが、とてもおいしくて楽しい時間を過ごしました。帰りは、車で山道の方へ行き、道がとてもガタガタしていて、少し怖かったけど、刺激的で楽しかったです。

夕方は、他のホストファミリーと一緒にプールパーティーをしました。他のホストファミリーが、クッキーを作ってくれていて、凄くおいしかったです。パーティーには、タコスもあり、沢山野菜が入っているタコスで、すごく健康的でした。

#### 【4日目】

4日目は朝からみんなで、乗馬をしました。思った以上に馬の匂いが臭くて驚きました。昼は、海でサーフィンをしました。エンシニタス市の海は、波がすごく高かった為、見た目は簡単そうで、すぐに出来そうでしたが、実際してみると、凄く難しく、初めは、ボードに立つことすら出来ませんでした。しかし、3・4回すると、少しずつコツがわかりました。そしてやっている内に、サーフィンが出来る様になると、凄く達成感がありました。

夕食は、ホストファミリーの家で、ナチョスを食べました。デザートには、ブラックチェリーという果物を食べました。甘酸っぱくて、一回食べると、癖になって食べてしまう果物でした。

#### 【5日目】

5日目は、ワッフルのお店に行き、朝食で、ベーコンワッフルを食べました。朝食をとった後、みんなでバスに乗り、ドーナツ屋さんでドーナツを買って、近くの広場で食べました。ドーナツは私にとってとても甘く感じ、全部食べるのに苦労しました。

ドーナツを食べた後、ビーチバレーをしました。ビーチバレーは、砂浜の不安定な場所でするともあって、予想以上にボールのコントロールが大変で、難しかったです。また、3時間もビーチバレーボールをしたので、ふくらはぎがパンパンになりました。ビーチバレーが終わった後、みんなで海を背にして、記念撮影をしました。

昼食は、みんなで巨大ピザを食べました。すごく大きくて、全部食べる事が出来ませんでした。味は凄くおいしかったです。昼食の後は、みんなでハイキングしました。その途中、公園で鬼ごっこをしました。また、道端に、蛇の死骸を見つけ、みんなで大騒ぎになりました。

夕方は、ビーチパーティーに参加しました。マシュマロを焼いてチョコレートとビスケットで挟んで、食べました。かなり甘かったです。夕食は、ホットドッグやステーキ、サーモンなどホストファミリーの友達たちとみんなで食事を楽しみました。



#### 【6日目】

6日目は、朝からパンケーキを食べました。そして川へ行きました。ホストファミリーが持っているサップとカヌーを使って、2時間ぐらい遊びました。サップは、

とても安定感があって漕ぎやすかったです。

カヌーやサップをした後、ジャパニーズフェスティバルに参加しました。そこには、茶の間や日本の俳句を、教えている人もいました。私たちは、ジャパニーズフェスティバルには、浴衣で参加し、日本の食べ物や書道、日本の伝統的な遊びを伝えました。その中で、私は日本で買った梅干しと煎餅をエンシニタス市の人々にお渡しました。梅干しは口に合う人と、合わない人がいましたが、煎餅は特に小さな子供には人気で、好きな人が多かったことに驚きました。そこで、私は英語で日本の文化や歴史を多くの人に伝える事が出来て良かったと思いました。

昼は、ジャパニーズフェスティバルで売っていた日本のカツカレーを食べました。カレーが少し辛かったけど、凄くおいしかったです。ジャパニーズフェスティバルが終わった後、みんなで海に行き、海の中で遊んだり、砂の中に小さなカニがいて、それをみんなで捕まえたりして楽しみました。また、海の中で記念撮影もしました。



その後、私たちはみんなで、ある広場に行き、最後のホストファミリーとの時間を楽しみました。

ホストファミリーと最後の夕食と思うと、とても寂しかったけど、みんなでサッカーしたり、たくさんのお話をしたりして、最後にたくさんのお思い出が出来て、とても有意義でした。

## 【7日目】

7日目は、朝からホストマザーとホストシスターの二人とお別れしました。特にホストマザーには、とてもお世話になって、お別れするのはとても悲しかったです。ホストマザーたちに、感謝の言葉を伝えて、お別れをした後、ホストファザーともう一人のホストシスターと市役所へ向かいました。市役所では、たくさんの方が居て、お別れの写真を撮り、私は沢山の人に英語で感謝の言葉を伝えました。それから、ホストシスターと今度は、ホストシスターが日本に来てくれると、私は約束を交わしました。

その後、バスに乗り込み、ロサンゼルスハリウッドに向かいました。そこでは、有名人の足と手型や、劇場など大きな建物を沢山観光しました。また、約30分間、近くのお土産屋さんに行って、キーホルダーやお菓子などのたくさんのお土産を買いました。お土産を買った後、ユニバーサルスタジオハリウッドへ向かいました。ユニバーサルスタジオハリウッドに入る前に、みんなで、私のホストファミリーと買った、金髪のヘアスプレーをかけて中に入りました。ユニバーサルスタジオハリウッドでは、たくさんのお乗り物がありました。私たちは始めに、車のよう形をし

たジェットコースターに乗りました。結構スピードが速くて、少し怖かったです。ジェットコースターに乗った後、私たちが来た記念として、キーホルダーなどを買いました。すごくカッコイイキーホルダーを買えて良かったです。ユニバーサルスタジオハリウッドには、ウォーターショーもありました。ウォーターショーは、凄い勢いで人が水に飛び込んだり、わざと観客席の人に水をかけていたりして、みんなとても盛り上がり、凄いショーを見る事が出来ました。ショーが終わった後、バスケットボールのゲームなどで、沢山の賞品を貰いました。私は、ミニオンのバスケットボールや巨大なミニオンの人形が当たって、とても嬉しかったです。昼食は、ユニバーサルスタジオハリウッドの中にあるサンドイッチ屋さんで食べました。楽しい時間は、凄く早く感じました。

18時ぐらいに、ユニバーサルスタジオハリウッドを後にし、アメリカの夜景を見に行きました。夜景は、びっくりするほど美しく、本当に見ることが出来て嬉しく感じました。

#### 【8日目】

もう日本へ帰る日になりました。家族や日本にいる友達と会えると思ったら、嬉しい気持ちになりましたが、やっぱりまだ、アメリカに居たい気持ちもありました。帰る飛行機もアメリカに来た時と同じように大きな飛行機でした。飛行機に乗る前に、みんなでホストファミリーに電話して、ありがとうと感謝の気持ちを伝えて、飛行機に乗りました。飛行機の中は、相変わらず長時間で、とてもきつかったです。日本についたときは、みんなで笑いながらアメリカに戻りたいと、叫び合いました。

私は、この天草市姉妹都市交流事業に参加して、とても良い体験を沢山させてもらいました。1日1日、やることが初めての事ばかりで、毎日がワクワクドキドキでした。

日本とアメリカの文化の違いや、ホストファミリーと楽しい時間を過ごし、現地の生活習慣も学ばせて頂きました。

この天草市姉妹都市交流事業で学んだ経験を活かし、将来の夢に向かって、沢山の



の場面で活かしていきたいです。今回、中村市長さんをはじめ、教育委員会の方々、学校の先生、引率して頂いた古田先生に温かく見守られ、とても良い経験をさせて頂きました。本当にこの交流事業に参加させて頂き、感謝申し上げます。誠に、有難うございました！

## 『 ホームステイを終えて 』

本渡東中学校 3年 寺田 雄大

私は英語の発音を学びたい、英語だけで人とコミュニケーションをとってみたい、外国の文化に触れてみたいと思いこの研修に参加しました。

### <1日目>

朝7時に市役所を出発しました。出発するときはたくさんの方々の見送りがあり、とてもうれしかったです。正午ごろ福岡空港に到着しました。そして成田行きの飛行機に乗りました。成田空港に到着して、出国審査を受けて、ロサンゼルス行きの飛行機に乗りました。飛行機の中では映画などを見て過ごしました。10時間かかり、とてもきつかったです。ロサンゼルスに着くと、日本語はもう全く聞こえてきませんでした。ロサンゼルスに着いて最初に思ったことは、天草とは違い、とても涼しい所だということでした。入国審査の時、英語で話しかけられて少し戸惑ってしまい、市役所の方に助けてもらいました。英語で話しかけるということはとても難しいと感じました。また、ホームステイ先できちんと英語で話せるのか不安になりました。

そして、空港からエンシニタスへ向かいました。エンシニタスの市役所には予定より早く着いたので、ホストファミリーの人はだれも来ていませんでした。ホストファミリーを待っている時は、ホームステイに対してのドキドキと不安でいっぱいでした。しばらくしてホストファミリーが来ました。母と息子の2人で迎えに来てくれました。挨拶をして、少し英語でコミュニケーションをとりました。みんなで

集合写真を撮った後、市役所を出て家に行きました。

家に着いてすぐ、息子のランドンと海に行きました。海にはランドンの友達がありました。全員フレンドリーで、すぐに仲良くなれました。アメリカの海は波がとても高かったです。そのことをランドンに伝えると、ここの波は小さいよと言われて、とてもびっくりしました。



海で遊んだ後、晩ご飯をお店で食べました。この日の夕食はメキシコ料理でした。日本にはないような独特の味がしましたが、美味しかったです。夕食後アイスクリームを食べに行きました。とても甘くて大きくて美味しかったです。

その後、公園に行きました。30分くらい遊んだ後、家に帰りました。家に着い



て天草から持ってきたお土産を渡しました。日本の食べ物や、ステテコが人気でした。

### <2日目>

この日は午前中自由だったので、ランドンと買い物をしに行きました。すると、お店で研修生の華英さんと華英さんのホストファミリーのハナに会いました。偶然と思いましたがランドンが、「僕とハナは、仲がいいからこれから一緒に行動する」と言われました。アメリカのお店はとても広くて迫力がありました。特に天井が高かったです。アメリカで初の買い物で、値段の表示の仕方を理解するのが難しかったです。

そして、買い物を終え4人でランドンの車に乗り、午後からは4人で市役所へ向かいました。全員揃うと案内が始まりました。市役所の中には日本に関するものがたくさん置いてありました。市役所の案内が終わると、エンシニタスを案内してもらいました。昔の小学校や大きな看板、心を落ち着かせる場所などたくさん案内してもらいました。最後にアイスクリームを食べに行きました。

その後は自由だったので、僕とランドンとランドンのお父さんと華英さんとハナで野球観戦に行きました。野球の試合はエンゼルスが戦う試合でした。試合には大谷選手も出場していました。ホームランやヒット、ファインプレーが出たときはとても興奮しました。夜遅かったので最後まで見ないで帰りました。帰りはランドンのお父さんは車で帰り、僕たちは電車で帰りました。電車の中ではランドンが去年ホームステイしたホストファミリーについて、ランドンが行っている学校についてなどたくさん教えてくれました。だから僕も日本の簡単なゲームを教えました。そして、みんなでしてみると、とても面白かったです。



### <3日目>

この日は前日の疲れもあり、午前9時に起きてしまいました。朝から洗濯をしたかったのでホストマザーに言ったら、手伝ってくれました。

この日は自由な日だったので、僕とランドンと華英さんとハナでアジアタウンに行きました。まず初めに、日本食堂に行きました。そこには、チャンポンやそば、ラーメンなどがありました。とても美味しかったです。その後は、買い物をしました。

夕方からはプールパーティーをハナの家でしました。研修生の翔音さんも参加し

ました。プールはとても大きかったです。温水プールもありました。プールでしばらく遊んだ後、晩ご飯を食べました。この日の晩ご飯、タコスでした。具材は自分で決めました。とても美味しかったです。晩ご飯を食べた後、プールで再び遊びました。途中で暗くなったので、ライトをつけてもらいました。寒くもなったので温水プールで遊びました。とても楽しかったです。

#### <4日目>

この日は午前9時集合でした。集合し  
てまず初めに、乗馬公園に行きました。  
馬は想像以上に大きくて迫力がありまし  
た。また、少し恐怖感もありました。し  
かし、いざ乗ってみると、少し揺れて怖  
かったです。風がとても気持ちよくて楽  
しかったです。



全員が体験した後、ランチにハンバーガーを食べに行きました。やはり、アメリカのハンバーガーはとても大きかったです。

昼ご飯の後はサーフィンをしに行きました。最初は一人でできていませんでしたが、現地の人に助けられてできました。何度かすると、一人で立てるようになりました。うれしかったです。

#### <5日目>

この日も午前9時集合でした。まず、ドーナツショップに行きました。そこで現地の人から新聞をもらいました。それには、僕たちのことについて書いてありました。とてもうれしかったです。その後ドーナツを食べました。とても甘かったです。

ドーナツを食べた後はビーチにバレーボールをしに行きました。現地の人がバレーの仕方を教えてくださいました。最初はラリーが続かなかったけれど、しばらくしたらラリーが続くようになり楽しかったです。最後は現地のバレーボールチームの人も参加してしました。サーブが速くてレシーブできませんでした。しかし、楽しめたので良かったです。バレーボールの後は昼ご飯をピザ屋に食べに行きました。ピザはとても大きくて、美味しかったです。

昼ご飯の後はハイキングをしました。日差しは暑かったですが、涼しい風が吹いていたので気持ちよかったです。高い所に着くと、町全体の景色を見ることができました。とても綺麗でした。ハイキングが終わると、僕とランドンと華英さんとハナでビーチに行きました。ビーチでは、僕と華英さんで棒倒しを教えました。みんなやってみると、とても楽しかったです。

## <6日目>

この日は朝ご飯を食べに行きました。パンケーキ2枚とベーコン、スクランブルエッグでした。パンケーキがとても大きくて一人で食べきれませんでした。

その後ジャパンフェスティバルに参加するために図書館に行きました。図書館にはすでにたくさんの方がいました。中には、日本のアニメのコスプレをしている人もいました。ジャパンフェスティバルで、僕らは浴衣や甚平を着て参加しました。僕は研修生の北村君と一緒に「すごろく」について教えました。発表する前は、きちんと教えられるか不安でした。しかし、きちんと発表することができました。終わった時に、会場の人からたくさんの拍手をもらったのでとてもうれしかったです。他の研修生が発表した日本のお菓子や、書道についても外国の方は興味津々で、自分の国の文化に興味をもってもらえて、とてもうれしかったです。

ジャパンフェスティバルの後は、みんなでお別れパーティーをしました。まず、晩ご飯をみんなで食べました。ご飯の後はみんなで相撲やサッカーなどをしました。



ホストファミリーと最後の活動だったので、いろいろなことをしました。あっという間に時間が過ぎて、もう帰る時間になり、とても悲しくなりました。残りの時間を大切に過ごそうと思いました。みんなと別れた後、家に帰りました。家に着いて、ランドンに「何がしたい？」と聞かれました。僕は「みんなで写真を撮りたい。」と言いました。

すると、快く受け入れてくれました。うれしかったです。写真を撮った後はみんなでクイズ番組を見ました。さすがに答えることはできませんでしたが、単語を聞き取ることができました。来た時よりも確実に聞き取る力がついたと思いました。

## <7日目>

ついに、ホストファミリーとお別れの日が来てしまい、朝起きた時とても悲しくなりました。朝ご飯はパンケーキを作ってもらいました。朝ご飯を食べた後は荷物を車に入れて家を出発しました。市役所に着いてランドンとしばらく話しました。

集合した後、みんなで写真を撮りました。そして、ホストファミリーとお別れをしました。とても悲しかったですが、最後は笑顔で別れようと思い、泣くのを我慢しました。しかし、バスに乗ると涙が出てきました。またこのホストファミリーに会いたいと思いました。

この研修でアメリカの人はとても親切だと思いました。分からないことがあったら優しく教えてくれました。親切な人が多いのは、日本もアメリカも同じだと思いました。

アメリカには他国の店がたくさんありました。アメリカは多文化社会で、他国の文化を大事にしていると身近で感じることができました。アメリカの日差しは日本と変わらず強かったですが、風がとても涼しかったです。なので、家に大きな窓が何個もありました。また、ほとんどの家がプールを持っていました。それは、アメリカの文化だと思いました。

いま日本に在住している外国の方はとても多くて、日本に住んでいても英語を使う場面が増えてくると思います。そんな中で、今回の研修は今後の人生にとって、とてもいい経験になったと思います。これからは、この研修で学んだ英語を生かして、もし外国の方を見かけたら、積極的に話しかけたいです。そして、今回の研修が無駄にならないように、これからも英語を勉強して、将来英語を使う職業に就きたいと思いました。

## 『 私のエンシニタス市ホームステイ 』

稜南中学校 3年 濱 翔音

まず私は、この『天草市姉妹都市教育交流事業』に参加することが出来てとても良かったです。それにあって、感謝する人達がたくさんいます。費用を出してくれた両親や、同行して下さった古田先生、ホームステイを受け入れてくれたホストファミリーの皆さんなどたくさんの人達にお世話になりました。

エンシニタス市と天草市の違い、私のホストファミリー、このホームステイで必ずしようと思ったこと、ホームステイ中に体験したことの4つに分けて紹介したいと思います。

1つ目に、エンシニタス市と天草市の違いについて紹介します。

エンシニタス市は全くと言って良いほど雨が降りませんでした。日本よりジメジメしておらず、とても過ごしやすい町でした。海に行ったときに気づいたことがあります。それは、海に全くゴミが落ちていないこと、動物がたくさんいることです。ビーチの至る所にゴミ箱が設置されていて、ポイ捨てをする人がいませんでした。そのおかげか、ビーチの砂浜には貝やフナムシ、カモメなどたくさんの生き物がいました。道路にもゴミが落ちていなかったため、環境問題が重要視されている今、すごいなと思いました。買い物するときもレジ袋は有料でマイバッグを使う人がほとんどでした。天草市も環境問題に取り組み、たくさんの種類の分別があったり、レジ袋も有料化されたりしているの似ているなと思いました。しかし、天草の道路はゴミが至る所に落ちているので、エンシニタス市に見習い、私たちが改善していこうと思いました。

2つ目に、私のホストファミリーとの思い出を紹介したいと思います。



私がホームステイしたマーティンファミリーは8人家族です。ホストファザーとホストマザーと子供6人ですが、3人は結婚して、1人は大学の夏休みで帰ってきていました。ホストファザーのブライアンはエンジニアで、ホストマザーのカレンは主婦、大学の夏休みで帰ってきたアシュリン、16歳のエレン、13歳のクリストファーと一週間を過ごしま

した。マーティンファミリーの家はとても大きく、庭にはキャンプファイヤーをする場所があったり、テレビが沢山あったりして、すごく広い家でした。

ホストファミリーとは、海に行ったり、大きなショッピングセンターに行ったりしました。行った場所全てが初めて行く場所で、とてもわくわくしました。一番印

象に残ったのは、ホストシスターのアシュリンとエレンとアシュリンの友達レベッカと行った大きなショッピングセンターです。FOREVER21 に行きたいと言ったら連れて行ってくれました。日本のショッピングセンターと規模が違って、アメリカのショッピングセンターは大きくてびっくりしました。店内に置いてあるマネキンは細いマネキンと太いマネキンがあって、さまざまなサイズの服が売ってありました。

他にも、キャンディーショップへ行きました。日本と比べて一つ一つの大きさが大きく、安かったです。キャンディーの味も日本には売っていないユニークなフレーバーがありました。例えば、腐った卵の味や魚味のキャンディー、ポテトチップスの味では数え切れないほどの種類がありました。

帰る前の日には、家の庭でスモアと言うスイーツを作りました。スモアは、アメリカの伝統的なスイーツで、キャンプファイヤーで人気のスイーツです。焼いたマシュマロとチョコレートの層を2枚のグラハムクラッカーで挟んで作ります。とても甘くて美味しい食べ物です。これはアメリカでしか食べられないものだと思います。

マーティンファミリーはとても親切で、私が宿泊する部屋に「WELCOME KANON」という手書きのメッセージが飾ってあったり、机の上にはファミリーそれぞれのおすすめお菓子が置いてあったりして、私はマーティンファミリーの家に泊まる事が出来てとても嬉しく思いました。

3つ目はホームステイで必ずしようと思った事です。

私は、このホームステイで必ずしようと思ったことがありました。それは、日本の文化を紹介し、さらにアメリカの文化も知るという事でした。日本の文化を紹介するには何がいいか考えると、やはり世界遺産に登録された和食、日本に一番馴染みがある駄菓子だと思います。

和食ではちらし寿司、いなり寿司を作りました。材料は日本から持参したものを使いました。しかし、鍋でご飯を炊いたことがなく、行く前に何度も練習しましたが、1回も成功したことがありませんでした。なので、アメリカでちゃんと成功するか心配でしたが、ちゃんと成功することが出来ました。分量の目盛りはアメリカと日本は大きく違って、それを英語で伝えるのが1番難しかったです。でも、ホストファミリーはスマホの自動翻訳アプリを使って一生懸命私が理解出来るようにしてくださいました。そして「美味しい」と言って食べてくれて、日本の食文化を紹介



介して本当に良かったなと思いました。

駄菓子、ブラックサンダーや天草サブレ、黒糖ドーナツ棒など日本ならではの食べ物を持っていきました。しかし、ブラックサンダーはとても気に入ってもらえましたが、黒糖ドーナツ棒や天草サブレ、おっとっと、かっぱえびせんはあまり人気がありませんでした。これは、味の濃さの違いかなと思いました。アメリカ人の方たちは、味の濃いものや、辛いものなど味が強いのが好みの方が多くいらっしゃるからかなと思いました。

また、宗教の違いも学ぶことが出来ました。私のホストファミリーは、夕食を食べる前にいつもお祈りをされていました。他にも、日曜日には教会に必ず行くと言ってらっしゃったのでそこは大きく違うところだと思いました。

4つ目はホームステイ中に体験したことについてです。

エンシニタス市に着いた次の日は、エンシニタス市役所に行きました。天草市役所などとは違い1階建てで横に広がったです。オールドタウンでは昔ながらの建物がありつつ、新しい建物があって綺麗でした。

フリータイムではサンディエゴのオールドタウンに連れて行ってもらいました。そこでは、メキシコから来た文化とアメリカ独自の文化が混ざってしていました。アメリカではタコスを食べることが多く、朝昼晩タコスの時もありました。でも、タコスは美味しくて魚を揚げたものが入っていたり、チキンが入っていたり辛いソース入などたくさんの種類のタコスがあって、飽きませんでした。



4日目はサーフィンをしました。一見簡単そうに見えるけど、実際してみるととても難しかったです。バランスが取れなくて、結局立つことは出来ませんでした。でも、とても楽しかったです。お昼ご飯の、イン・アンド・アウト・バーガーではとても大きいサイズのチーズハンバーガーとポテトを食べました。ドリンクはセルフサービスで自由な感じがしました。

5日目はビーチバレーをしました。砂の上でのバレーは難しかったです。筋肉痛になりました。現地の人達と一緒にチームを組んで戦いました。点数が入ったらハイタッチをしたり、ミスしたときは日本語で「ドンマイ！」と言ったり、英語で励ましたり励まされたり、現地の人と笑いながらビーチバレーを楽しみ、仲を深めることが出来ました。最後は仲良く記念撮影することが出来ました。ランチはとても大きいピザで、1つが顔の2倍くらいでアメリカサイズだなと思いました。ハイキングではサンディエゴの景色を一望することが出来て、綺麗でした。

最後の日は、ジャパニーズフェスティバルでした。みんなで浴衣や甚平を着て、梅干しやすごろくの紹介、習字を披露しました。梅干しは案外気に入ってもらえました。日本の文化を知っている方が沢山いらっちゃって、嬉しかったです。お別れ夕食会では、みんなでサッカーやニュースポーツをして楽しかったです。

お別れの日はとても帰りたくありませんでした。1週間はあっという間で、3日ぐらいにしか感じませんでした。それぐらいに、楽しめるよう計画してくださったホストファミリーやエンシニタスの方には感謝でいっぱいです。エンシニタス市でとてもいい思い出が作れました。それして、一緒に行くことができたのがこの6人でとても良かったです。機会があったら、またホストファミリーに会いに行きたいです

私はこのホームステイで1つ後悔したことがあります。それは、あまり積極的に話しかける事が出来なかったことです。今思うと、あのときリビングに行って少しでもホストマザーやホストシスターに話しかけていたら良かった、自分の部屋にいた時間が長すぎたと後悔しています。今更ですが、英語がわからないなら、ジェスチャーや自動翻訳アプリを使えば簡単に言いたいことも言えたなと思います。ホストマザーに部屋にいないでリビングに来てみんなと話そうよ！と言われたときに、せっかくアメリカに来て費用も出してもらっているのにこのままじゃいけないと思いました。なので、その日から自分の部屋にこもるのをやめて、出来るだけリビングにいるようにしました。すると、その日から何か変わったような気がしました。マーティンファミリーと自然に話すことが出来き、ファミリー達と笑うことも増えました。でも積極的に話せなかった日々は大きいと思うので、この後悔はこれから英語の時間などに活用して積極的に話しかけたいです。そして、自分の英語力はまだまだとわかったので、さらに勉強して、今度は自動翻訳を使わず会話ができるようにしたいです。

最後に、この天草市姉妹都市交流事業を通して日本とアメリカの違いや似ているところを知ることが出来ました。品物の大きさや値段、家庭的な文化、それぞれアメリカ現地に行かないとわからないことだと思



います。私はこの交流事業に参加できるように面接や英語の練習などに励みました。参加することが出来ると知ったときはとても嬉しかったです。そして、6人のメンバー、マーティンファミリー、古田先生と今までにないくらいの良い思い出を作ることが出来ました。今でもマーティンファミリーとはメールで連絡を取り合っています。このメールが出来ただけとだえることのないようにしたいです。



二学期には学習成果発表会あります。そこではエンシニタス市のことについて発表する機会があります。エンシニタスのことを知らない人は少なからずいると思います。ですから、エンシニタス市の良さや、美しさを全生徒に知ってもらえるように、誰もが行ってみたいと思えるような発表にしたいです。

## 『 僕のひと夏の冒険 』

牛深中学校 3年 北村 晋太郎

僕はこの交流事業を通して、今までの自分の世界がどれだけ狭かったかを実感することができました。普段僕は家にこもってばかりで、外に出ることはなるべく避けていました。だけれど外には家の中では体験できないとても楽しく、面白いことがあふれていることを知ることができました。

### 【一日目】

初めて見たアメリカの景色は今も忘れられません。茶色い山、ヤシの木のようなよくわからない植物、からっとした空気。どんなものも新鮮に思えました。



ロサンゼルスからエンシニタスまではすっかり寝ていて覚えていませんが、ホストファミリーと初めて会った時、僕に衝撃が走りました。僕には歳が二つしか変わらないホストブラザーがいたのですが、背は大きくすらっとしたイケメンでびっくりしました。(背が低く、ずんぐりむっくりしている僕とは正反対で。)ホストブラザーの手には、『welcome shintaro

kitamura』と書いてあるボードがありました。市役所でもらったクッキーはととても甘く、一個でおなかいっぱいになるほどでした。

市役所から帰ってきて荷物を整理した後、ホストファミリーに英語で「どこか行ってみたいところなどはある？連れて行ってあげるよ。」と言われたのですが、僕にはアメリカの知識は皆無で、うまく「おまかせ」が言えなくて少しぎこちなかったのですが、ホストファミリーのみんなは快く「OK」と言ってくれました。日本からのお土産で高浜焼を持って行ったのですが、とっても喜んでくれました。

夕食にはレストランに連れて行ってもらいました。そこはイスやテーブルもおしゃれで、遊び道具やバーみたいな場所もありました。僕はアボカドと鶏肉のサラダを頼みました。美味しかったです。サラダを食べ終わったところにテーブルにどっさり盛られたポテトとカリフラワーのフライが運ばれてきました。ポテトは、外はカリカリ、中はもちもちで美味しかったです。カリフラワーのフライのソースは辛かったけど、マヨネーズも混ぜてあってマイルドでした。おかげでマヨネーズ嫌いが治りました。

### 【二日目】

この日は、朝から市役所やエンシニタスの町中を案内してもらいました。エンシニタスは田舎と聞いていましたが、本当の田舎者の僕には町中が輝いて見えました。まず、僕たちは、オールドスクールへ行きました。そこは、エンシニタスで最初に来た学校で、当時の写真などを見せてもらいました。椅子と机がつながっていて驚きました。

その次にエンシニタスで一番古い映画館に連れて行ってもらいました。今風の映画館とは違って、なんだか演劇が始まりそうでした。その後、アウトレットやアイス屋さんへ連れて行ってもらいました。アイス屋でホストブラザーのベンのいところを紹介してもらいました。アメリカではタピオカは boba というので、最初知っているかと聞かれたときに頭の上に「？」が浮かんでいましたが、実物を見たときに納得しました。ちなみに僕はラズベリーのアイスを頼みました。日本のチェーンの店とは比べ物にならないくらい美味しかったです。

帰宅後、ホストファミリーと海辺の散歩をしました。どこまでも続いている海を見て、牛深もエンシニタスもこの海でつながっているんだなと思いました。帰ってきた今でも海を見るとその時を思い出してちょっと目がウルウルしてきます。夕食にはホストファザーのトムが豪快に煮込んだ牛肉を作ってくれました。日本ではあまり見られないサイズの肉に少しびっくりしながらも美味しく食べました。夕食後にみんなでホットタブに入りました。ホットタブというのは暖かいプールのようなもので、気持ちよかったです。ホットタブに入りながら、好きな音楽の話、自分たちが興味のある日本文化の話や僕の失恋談（笑）などで盛り上がりました。

### 【三日目】

この日は、ホストファミリーと一日中一緒にいました。最初にサンディエゴのオールドタウンへ行きました。映画や動画でしか見たことのないメキシコの街並みが今自分の目の前にあってとってもワクワクしました。そこで僕はタコスとチュロスを食べました。タコスは不思議な味がしたけど、美味しかったです。チュロスはテーマパークのとは違って甘く美味しかったです。

その後、遊覧船に乗ってサンディエゴの海を回りました。船が出る前の待機時間にホストブラザーのベンと散歩をしました。空母の前で写真を撮り、自分たちの好きな漫画の話をしました。船に乗り込むと広い海が目飛び込ん



できました。サンディエゴはとっても大きな町だったけど海がきれいでした。海の上にはアシカがいたり、空の上はオスプレイが飛んでいたりと見ていて飽きませんでした。

その後、バルボア公園へ行き、夕食を食べました。鳥、牛、エビの串とサラダを食べました。デザートにはチョコのムースケーキを食べました。ブルーベリーのソースがかかっていて甘酸っぱかったです。

その後、劇を見ました。劇目は「ネズミの騎士デスペロー」でした。この物語はネズミのデスペローが姫を助けるために敵と戦う物語で、物語の要となるものが「スープ」という物語です。日本ではあまり聞いたことのない名前でしたが、見てみると面白く、事前にホストファミリーが google 翻訳で翻訳したストーリーを印刷した紙をくれたのでわかりやすかったです。

#### 【四日目】

この日は朝から乗馬をしました。まず馬についての説明を受けました。中には北海道から来た馬もいました。説明を受けた後、順番に馬に乗りました。自分の番に近づくといつの疑問が浮かびました。「この馬は、自分の体重に耐えられるのか…？」



とうとう自分の番が回ってきました。恐る恐る乗ってみると馬はずっしりとしていました。ですが操作が難しく、武士はよくこれを持ち回していたなって思いました。

その後、ムーンライトビーチへ行ってサーフィンをしました。その際に着ていたウェットスーツがおなかだけポッコリ出ていたので少し恥ずかしかったです。サーフンは一回だけ波に乗れました。サーフィンを終えた後、カフェでお茶会をしました。そこで食べたカップケーキが大きくて食べきれませんでした。この日の夕食はホストファザーが魚を焼いてくれました。バーベキュー用のグリルで焼いてくれた魚はバジル風味で美味しかったです。

#### 【五日目】

この日は、ビーチバレーとハイキングに行きました。朝から出されたシリアルを食べ終えて市役所へ行くと、なんと朝食用としてドーナツが差し出されました。アメリカのドーナツはとっても甘くて驚きました。

ビーチバレーは砂に足がとられて難しかったです。とても疲れました。ビーチバレーの後にはピザを食べに行きました。サイズも味も日本とは全然違ってびっくり

しました。

次のハイキングへ向かう途中、みんなでサーファーの像を見に行きました。ホストブラザーのベンが「この像にみんないたずらをするんだけど、見られると捕まるから夜の間をやっているんだよ。」と写真を見せながら解説をしてくれました。どうやらその像の波の乗り方はへたくその波乗りだそうです。

サーファーの像を見た後にハイキングに行きました。きれいな道路と大きな家がたくさんありました。そこで拾った松ぼっくりは日本のサイズの三倍近くあって、松ぼっくりでさえもアメリカンサイズなのかと驚きました。

この日の晩、僕は少しわくわくしていました。なぜならこの日僕は夕食を作る許可をもらったからです。このチャンスを生かして、僕は大好物のカツ丼を作ろうと思いました。ですが、材料の時点でいろんな壁にぶつかりました。まず、味の要の出汁がなかったり、パン粉が日本のものと少し違ったりしましたが、ホストファミリーの協力のもと完成しました。みんな喜んでくれたのでうれしかったです。食後に夜の街を散歩しました。エンシニタスで有名なアイスを買ってもらって、ビーチでホストファミリーと食べました。美味しかったです。ビーチではみんな焚火のようなものをしていてきれいでした。

#### 【六日目】

この日はホストファミリーと過ごす最後の日でした。朝からレストランに連れて行ってもらってパンケーキを食べました。三枚あってかなり食べ応えがありました。ホストブラザーがハンバーガーを食べていましたが、そのハンバーガーも食べ応えがありそうでした。

朝食を食べ終わった後、他の研修生と図書館に集合しました。そこではジャパンフェスティバルが行われていました。会場に着くと、コスプレをした人やけん玉の講習会、武士の鎧風ダースベイダーがいました。僕たちの出るステージはすでに準備されていて、日本の文化について発表しました。緊張したけど楽しかったです。

ジャパンフェスティバルの後、みんなでビーチに行きました。お互いの体を埋めあったりして楽しかったです。ビーチで遊んだ後、公園でお別れパーティをしました。いろんな料理が出てきて楽しかったし、美味しかったです。帰宅後、ホストファミリーと一緒に「ストレンジャー・シングス」を見ました。ホストファミリーが字幕設定を日本語にしてくれたので、楽しく見ることができました。

「ストレンジャー・シングス」を見た後、ホストファミリーからプレゼントをもらいました。その中にはこのホームステイでのアルバムがあって、どんなプレゼントよりも温かみを感じて、アメリカに来てよかったなという気持ちと帰りたくないという気持ちがごちゃごちゃになって泣きそうになりました。そこで僕は自分の気持ちを振り払うようにホストファミリーにこう言いました。「I will not cry tomorrow, because I believe we can meet again.」と言って寝室に向かいました。

### 【七日目】

とうとうホストファミリーとお別れの日になりました。僕はもらった物と思い出をバックに詰めて家を出ました。お見送りの際にホストファミリーと握手とハグをしてさよならをしました。

エンシニタスから車で一時間半、僕たちはハリウッドへ行きました。映画でしか見たことがなかった風景に少し興奮しました。

ハリウッドを見学した後、ユニバーサルスタジオハリウッドへ行きました。USJとはまた一味違った世界にワクワクしました。お化け屋敷へ行くことになりましたが、僕は入口の血のオブジェクトで気持ち悪くなって退場しました。そこだけが苦い思い出です。



今回の交流事業を通して学んだことは自分に自信を持つ大切さです。自由の国アメリカだからこそ、そこに気づけたのではないかと思います。この経験を将来に生かせるようにしたいです。

## 『 姉妹都市交流を終えて 』

牛深東中学校 3年 山口 桃子

私が今回の交流事業に参加した理由は、部活の顧問の先生から「挑戦する事に意味がある」と言われていて、以前から関心があった海外ホームステイができる機会と出会いました。海外の方はもちろん、他校の生徒と交流することによって、自分が苦手だと感じている“コミュニケーションの壁”を破るチャンスだと思ったからです。

実際、出発前は期待より不安の方が大きかったのですが、様々な体験をしていく中で、かけがえのない出会いや経験があり、大きな壁をひとつ乗り越えたような気持ちになりました。

### 【7月29日（1日目）】

午前7時30分保護者や先生方に見送られ、福岡空港に向かう車に乗りました。車内はとても静かでした。成田空港に着き、出国審査を終えると、アメリカ行きの飛行機に乗りました。飛行機の席で、私の隣に座っていたのは、アジア系の男性の方でした。私は、少し怖そうだなという印象を持ってしまい、とても緊張しましたが、私がテレビと机を出すときに困っていると手伝ってくださり、とても優しい方でした。飛行機の中では、映画を観たり、睡眠をとったりしましたが、10時間はとても長かったです。アメリカに着くと、周りの雰囲気ガラッと変わり茶色い地面が広がっていました。入国審査を終えると、税関の方から日本語で「ありがとう。」と言われました。空港の外に出ると、クラクションの音と英語であふれていてアメリカに来たことを改めて実感しました。



昼食はマクドナルドに行きました。ドリンクの M サイズを注文したら、空のコップのみ渡され、ジュースはセルフサービスで、日本と違うシステムだったので新鮮でした。また、ハンバーガーやドリンクサイズが日本より大きくてびっくりしました。その後、エンシニタスの市役所に到着すると、エンシニタス市より、リュックと水筒、エンシニタスの T シャツをそれぞれプレゼントしてくださいました。しばらくすると、ホストマザーのクリスティーとホストシスターのコラが迎えに来てくれました。その後、市役所で写真を撮り、家に帰るため車に乗り込

みました。車の中では、クリスティーとコラがたくさん質問をしてきました。それは、学校で聞く英語のスピードよりだいぶ速くて聞き取ることが難しかったのですが、分かる単語が聞きとれたときは、そのことに対して身振り手振りで答えたりしました。簡単な会話は出来たので安心しました。

家に到着し、靴は脱ぐのかどうか聞いてみると「私達の家は脱ぐよ」と言っていました。最近は靴を脱いで入る家が多くなっているそうです。コラとクリスティーが家の中を案内してくれました。私が使う部屋はコラが普段使っている部屋で人形が沢山あり、ベッドがとても可愛かったです。テレビを観ていると、ホストファザーのマイクとホストブラザーのザックが帰ってきました。

夕食はマイクが作ったステーキを食べました。とても柔らかくて美味しかったです。夕食を食べた後近くに住んでいるアリーたちとバレーやバスケットをして遊びました。

#### 【7月30日（2日目）】

朝食は、初めてワッフルを食べました。クリスティーがメープルシロップをたっぷりかけてくれました。日本の朝食と違って、とても甘いメニューでした。

朝食を食べた後、天草のお土産を渡しました。お土産の中の一つのうちの使い方を教えると、コラが喜んで使っていました。また天草の車エビのせんべいはとても人気で、すぐになくなりました。



午前中は、ザックとクリスティーと一緒にプールに行きました。途中からクリスティーが仕事だったので、代理でベビーシッターのカイリーが午後からの活動の送迎をしてくれました。

午後からはエンシニタス市役所を訪問しました。市役所の中はとても広く、働いている方々が笑顔で迎えてくださいました。議会議室では大きな椅子に座らせてもらいました。市役所の中を案内してもらった後、エンシニタスの中心街を歩きに行きました。お店の外壁に絵が描かれていて、とても綺麗でした。次に、古い映画館を見に行きました。外観や中の照明がレトロな雰囲気を出していてと

とても素敵でした。[Meditation Gardens] という所にも行きました。そこは瞑想する場所で、池には鯉が泳ぎ、綺麗な花が沢山咲いていました。上の方へ登ると行くと海が見えました。海が広くどこまでも続いているような気がしました。



最後は、内装がとても可愛いジェラートのお店に行き、大好きなイチゴのジェラートを食べました。甘くてとても美味しかったです。

この日の夕食は、タイカレーを食べました。タイカレーはとても辛くて全部食べきれませんでした。夕食を食べた後、コラと一緒にスライムを作りました。コラはスライム作りにはまっていて、沢山スライムが置いてありました。その後、ジャグジーに入りに行きました。ザックとコラと一緒にプールにも入って遊びました。夜のプールは寒かったけど、とても楽しかったです。

### 【7月31日（3日目）】

この日は、4年前に私の姉がホームステイしたホストファミリーの姉弟、アレックスとイアンと会える日で、とても楽しみにしていました。

10時にアレックスが車で迎えに来てくれ、アレックスの家で、とても美味しいスムージーを作ってもらいました。その後、近くの海でサーフィンをしました。もちろん初体験のサーフィンでしたが、2人にサポートしてもらい、だんだん慣れてきて波に乗ることが出来ました。難しかったけれど、乗れた時はとても嬉しかったです。



昼食を食べるためにエンシニタス市内へ行きました。メキシコ料理を食べることにしました。初めてタコスを食べました。今まで体験したことがないような味でしたが美味しかったです。メキシコ料理を食べた後昨日行った[Meditation Gardens]に行きました。3人で写真を撮ったりベンチに座って話したりしました。イアンがハンバーガーを買いに行ったので、アレックスと待っていると、店内のニュースで選挙が取り上げられていて、アレックスに「トランプ（大統領）は変わるの？」と尋ねてみると、「私は強く願っている」と言っていました。また、私はアメリカの外貨コインの区別がわからなかったため、5セントから25セントまで丁寧に教えてもらいました。何故かというと、日本の硬貨は色や大きさが違ったり、数字が刻まれているので区別できますが、アメリカのコインには人物の顔だけが描かれていて、なかなか理解できずにいたからです。

アレックスの家に戻ると、飼っている鶏を見せてくれました。2匹飼われており、卵を産んでいました。家の中に入り、テレビを一緒に観ました。アレックスとイアンは2人とも天草へ交流事業で来たことがあり、その時に、連れて行ってもらった温泉がとても気に入ったと言っていました。私が姉に電話すると、アレックスとイアンがとても喜んでずっと話していました。帰る時間が迫ってきまし

た。帰りはイアンの運転で、家に送ってもらいました。送ってもらった後に2人がハグをしてくれました。2人と過ごした時間はとても楽しく、あっという間だったので、別れることが名残惜しく感じました。

夕食は、ホストファミリーと一緒に、ラコスタというホテルに行きました。中にゴルフ場が広がっていて、景色がとても綺麗でした。広い庭があり、料理が運ばれてくるまで、コラとザックと鬼ごっこやかくれんぼをしました。家族が注文した料理は、今まで見たことのないような、大きい葉に包まれたもので（名前は忘れてしまいましたが）、食べてみると少し苦くて大人な味でした。カラフルなクリームが乗ったカップケーキも食べました。甘くて美味しかったです。夕食を食べた後、テニスの試合を見に行きました。テレビで見るより、迫力があり、観戦出来て良かったです。帰る時に、近くでフライングゴルフという地面にゴルフボールを置かずに、ボールをゴルフクラブにつけて、バットのように振るスポーツを体験しました。とても楽しかったです。

#### 【8月1日（4日目）】

この日は市内の公園で乗馬体験をしました。馬に乗るのは少し怖かったけど、慣れてくると楽しくなりました。馬もとても可愛かったです。乗馬後は、ハンバーガーを食べに行きました。日本の物と比較するとボリュームがあり、美味しかったです。午後からは、サーフィンの講習会でした。昨日教えてもらっていたので波にすぐ乗ることが出来ました。サーフィンをした後は、カフェでオレンジジュースとカップケーキを食べました。



家に帰ると、マイクがパスタを作っていました。パスタの形がマカロニに似ていて、いつも食べているものと違い、とても新鮮でした。

#### 【8月2日（5日目）】

研修生のみんなと朝からドーナツを食べた後、ムーンライトビーチという海岸でビーチバレーの講習会がありました。練習の時に突然1人の女の子が、私に上手な日本語で自己紹介をしてくれ、嬉しくてびっくりしました。私も英語で自己紹介することができました。ビーチバレーの方は、サーブを打つのが難しく感じましたが、みんなと一緒に楽しめたのでよかったです。

昼食は、ベスタワンピザと言う店でピザを食べました。とても大きいピザで、一切れでも一人で食べられるかなあ、と思うくらいでした。

次にダブルピークパークへハイキングに行きました。都合で頂上まで行けなかったけど、見えた景色はとても綺麗でした。休憩で公園に行った時、みんなで鬼ごっこをして楽しかったです。

ホストファミリーと帰宅途中、ショッピングセンターに寄り、自分の服とリップを購入しました。クリスティーが私に口紅をプレゼントしてくれて、とても嬉しかったです。夕食は家族とバーベキューをしました。クリスティーの弟のアメリカンジョークがとても面白かったです。

#### 【8月3日（6日目）】

午前中はコラとザックとクリスティーと一緒に海に行きました。ブギーボードの乗り方をザックが教えてくれました。サーフィンより簡単ですぐ波に乗ることが出来ました。

ピザを食べた後、ジャパニーズフェスティバルがある会場へ向かいました。会場では、茶道や英語の俳句などを披露していました。私たちはそれぞれ持ってきた甚平や浴衣に着替え、日本のゲームやお菓子のこと、私は書道を紹介しました。終わった時大きな拍手があり、とても嬉しかったです。

フェスティバルが終わり、海で遊んだ後、公園でホストファミリーの皆さんが持ち寄ってくれた料理が並べ、お別れ夕食会がありました。食後、みんなでサッカーをして遊びました。家に帰り、クリスティーが私に写真立てをプレゼントしてくれて嬉しかったです。その日は遅くまでホストファミリーと話していました。最後の日だと思うととても悲しくなりました。

#### 【8月4日（7日目）】

とうとうホストファミリーとのお別れの日が来ました。悲しくて泣いてしまいました。私は必ずエンシニタスへまた来ようと思いました。その後バンに乗り、ハリウッドに向かいました。チャイニーズシアターやレッドカーペットが実際に敷かれている場所を見に行きました。ユニバーサルスタジオハリウッドにも行き、ジェットコースターに乗ったり、ウォーターショーを観たりしました。その後、ロサンゼルスのホテルで一泊し、日本へ帰国しました。

私はこの研修に参加して、気付いた事があります。

1つ目は、市内の道路や海にゴミが落ちていないことです。道路には一定の距離にゴミ箱が置いてあり、海にも置いてありました。しかし、綺麗な環境が守られているのは、街の人の環境への意識が高いからではないかと思います。私は天草をそんな街に出来るように自分から環境への意識を高めようと思いました。

2つ目は、英語を話せなくても、話したい、伝えたいという気持ちがあれば思いは十分伝わるという事です。私は、出発する前は英語を話す事がほとんど出来

ませんでした。現地で会話をする時は、知っている単語とジェスチャーで伝えました。話している内容が理解できなかった時は、「わからない」、ということをお伝え、分かりやすく話してもらいました。積極的に自分から話しかけていくと、日に日に英語が聞き取れるようになってきました。日本語が伝わらないからこそ、自分の気持ちをしっかり伝えることが大切だと思いました。

私が中学生で海外ホームステイという貴重な体験を経験することが出来たのは、家族や先生方、市役所の方のおかげだと思います。私は、この研修で学んだ事を糧に自分の夢を実現出来るよう日々努力していきたいと思っています。ありがとうございました。

## 「 姉妹都市交流事業を終えて 」

御所浦中学校 教諭 古田 直美

### 1 はじめに

私は英語教師でありながら、これまで一度も海外へ行ったことがなかった。そのことを普段から卑屈に思っていたわけではないが、周りの先生方が留学経験等ある中で、自分に海外経験がないということは、英語を教える立場としてどうなのだろうと、多少疑問に感じていた。そのような中、今年度の姉妹都市交流事業の引率の話を頂いた。最初は正直、自分で務まるかどうか不安で仕方なかったが、せっかく頂いたチャンス大切にしようと思い、参加を決意した。



エンシニタス市に行くまでは、不安な気持ちと楽しみが半分ずつであったが、10日間の研修を終えてみると、ほとんど楽しかったことしか思い浮かばない。1日1日が新しい発見の連続で、私にとってとても刺激的な、充実した素晴らしい日々であった。現地の方々にもたくさん協力していただき、代表生徒の6名と共に、非常に貴重な体験をすることができた。私の今までの人生の中で、最も特別な夏休みになった。

アメリカのカリフォルニア州にあるエンシニタス市は、ロサンゼルスから約2時間の場所に位置している。ビルが建ち並ぶ大都市のロサンゼルスとは風景も大きく違い、治安もよい。人口は約6万人だ。めったに雨が降らない地域で、過ごしやすい気候である。夏だが、朝夕はだいぶ涼しく感じた。町並みも美しい。いくつかの大きなビーチが近くにあり、通り沿いにはスーパーやサーフショップ、レストランなど様々な種類の店が並んでいる。サーフィンやヨガが盛んなところだと聞いていたが、ランニングをしている人も多く見られた。犬を散歩させている人も多かった。店が立ち並ぶ市街地を少し離れると、閑静な住宅街があり、ホームステイ先の家もこの住宅街の中にあっただ。市街地までは車で5分もかからず、大変生活しやすいところだと感じた。ゴミ箱が設置してあるおかげか、道にはゴミも落ちていなかった。町の人たちも優しく、日本や日本人に興味や理解がある温かい方ばかりであった。10日間、多くの方々に支えられながら、充実した毎日を過ごすことができた。私が生徒と一緒に体験したことについて、時系列で述べていく。

### 2 現地での活動

#### **【1日目】7/29(月)**

#### **<出国～入国>**

朝7時に市役所に集合。代表生徒のご家族や学校の先生方など、多くの人に見送

られ出発した。行きの車の中では、緊張しているのか、眠いのか、まだ仲間とあまり打ち解けていないのか、生徒達は比較的静かに過ごしていた。福岡空港へ着き、昼食を済ませ、成田行きの飛行機への搭乗時刻になった。しかし機体の都合のため、搭乗時刻も離陸時刻も、予定より大幅に遅れてしまった。成田空港に着いてからは、ロサンゼルス行きの飛行機の時間が迫っていたため、急いで出国審査を受け、空港内を走って移動し、バタバタと飛行機へ乗り込んだ。

約10時間のフライトはとても長かった。2回の機内食などのサービスを受け、仮眠を取った。起きてからしばらくすると、飛行機の下にはアメリカの風景が広がっていた。着陸し、飛行機を降りて空港内を歩くと、大きな星条旗がエレベーターの上に掲げてあった。ロサンゼルス空港は、世界で4番目に大きい空港であると聞いた。入国審査は最初に機械を操作し、質問されたり顔写真を撮られたりした。その後、役人との1対1の入国審査があり、全員無事にアメリカへ入国することができた。

#### ＜ロサンゼルス空港到着後＞

現地のガイド兼ドライバーさんと合流し、昼食をとった。アメリカで最初の食事はマクドナルドだった。メニュー、お金の支払い方、ソフトドリンクのセルフサービス、商品の大きさなど、日本のマクドナルドとは異なる面が多くあった。昼食後、車で2時間ほどかけて、エンシニタス市役所へ向かった。

#### ＜市長・ホストファミリーとの初対面＞

市役所へ到着すると、多くの市役所の職員の方々やホストファミリーが、手作りの横断幕、たくさんのクッキー、飲み物などを用意して笑顔で迎え入れてくださった。市長さんから歓迎の言葉を頂き、生徒達はお世話になるホストファミリーと対面し、それぞれの家へと向かった。



私のホームステイ先は、昨年度の交流事業でエンシニタスから引率者として参加した、小学校の先生をしている Janeen の家だった。ホストマザーの Janeen は優しく私を歓迎してくれた。私たちはそのままスーパーで買い物をしてから家へ向かった。家に着き、私のため用意されていた部屋はオシャレなホテルのようで、驚いた。お菓子や必要な物などが丁寧に準備されていて、とても嬉しかった。

## 【2日目】7/30（火）

#### ＜市役所訪問＞

午前中は各ホストファミリーと一緒に過ごし、午後は全員で活動した。まず、市役所の議事場に集合し、エンシニタス市長にあいさつし、中村市長からの親書を手渡した。その後、生徒たちは市長さんからエンシニタスでの議会の流れを説明して

いただいたり、実際の提案席に座らせてもらったりした。そして、市役所内も詳しく案内していただいた。エンシニタスの市役所は日本と同じように部署ごとに集まっているが、1人1人に個人の部屋があり、それぞれの部屋で仕事ができるようになっていた。

### 〈エンシニタス市内見学〉



市役所を訪問したあと、エンシニタス市の市街地を歩きながら見学をした。まず、エンシニタスの玄関口と呼ばれる看板の前で集合写真を撮り、地方新聞社の取材を受けたあと、古い映画館に行き、ステージに上がりスポットライトを浴びた。しばらく歩き、オールドスクールというエンシニタス市内で最も古い学校の

跡地を訪れた。教室の中に案内してもらい、席につき、小黒板に文字を書いたり学校の説明を聞いたりした。教室には昔のエンシニタスの写真や学校の資料などがたくさん残っていた。次に、ポートハウスという船を家として使っている建物を外から見学した。実際に住むことができるようで、とても珍しいものだった。そのあと、セルフ・リアリゼーション・ガーデンズを訪れた。緑が豊かなところであったが、見晴らしのよい場所まで行く細い坂道の途中では、声を出さずに歩くよう言われた。坂道を登ると、エンシニタスの美しい海を一望できるところにたどり着き、とても穏やかな気持ちになった。そのまま色々なお店の外観を観ながら、市街地を歩いた。途中で、“Welcome”と書いてある色鮮やかな大きな看板の前や、壁一面に富士山やヒマワリなど様々な種類の絵が描いてある建物の前などで写真を撮ったりして楽しんだ。最後にジェラート店に寄り、自分でそれぞれ好きなデザート注文し、外のテラスでおいしくいただいた。それぞれのお店や場所で出会った人たちは、皆私たちに優しく声をかけてくれた。また、お店が並ぶ市街地の中にも木々や花がたくさん植えられており、美しい町並みを体感できた。



### 【3日目】7/31（水）

#### 〈ホストファミリーと1日フリータイム〉

生徒は各ホストファミリーと一緒に、料理、野球観戦、ビーチなどを楽しんだと聞いた。私はホストマザーに、サンディエゴのシーワールドに連れて行ってもらった。水族館と遊園地が一緒になっているような行楽地である。イルカやラッコ、ペ



ンギン、フラミンゴなどの色々な種類の海の生き物を見たり、ジェットコースターなどのアトラクションに乗ったり、写真を撮ったり、朝から夕方まで、2人でとても楽しい時間を過ごす

ことができた。小さな子どもから大人まで、他にも多くの観光客がいた。お昼どきは、昼食の時間を特別にとらず、その代わりに園内を、リンゴを丸かじりしながら歩いた。そのようなことをするのは初めてだったが、他にも同じような人がたくさんいたので、これもアメリカンスタイルなのだと思います。

## 【4日目】8/1(木)

### 〈乗馬体験〉

オリベンハインという地域にある乗馬公園で、乗馬体験をした。馬の触り方、ブラッシングの仕方などを説明していただいたあと、実際に馬に乗り、全員がそれぞれ体験施設内を1周した。乗った馬はおとなしく、ゆっくりと歩いてくれたが、上に乗ってみるとは見かけ以上に揺れを感じ、少し怖かった。馬の餌はクッキーのようなもので、実際に餌をあげる体験をした生徒もいた。そのあとに、他の馬やロバがいる場所に行き、撫でたり写真を撮ったりした。



### 〈有名ハンバーガー店での昼食〉



アメリカで有名なファストフード店の1つ、インナウトバーガーへ行き、ハンバーガーとポテトを食べた。現地の人から話を聞くと、メニュー数は多くはないが、とても人気のお店らしい。みんなでおいしく食事をしたあと、お店のステッカーと店員が身に付けている帽子をもらった。そして、

その帽子をかぶって、みんなで看板の前で写真を撮った。

### 〈サーフィン体験〉

ムーンライトビーチでサーフィン体験を行った。ムーンライトビーチは市役所から近く、多くの人々が訪れる海岸である。現地の人々は休みの日はもちろん、仕事が終わったあとにビーチに来て、日が暮れるまでサーフィンを楽しむ人もたくさんいるそうだ。とても広いビーチでは、波が絶え間なく打ちつけていた。ずっと水の中にいると寒く感じるからウェットスーツを着た方がいいとアドバイスを受けた。しかし、生徒たちはウェットスーツを着るのも一苦労だったようだ。インストラクタ





ーからボードの上での立ち方などの指導を受け、水の中に入っていった。最初は大きな波が押し寄せるだけで叫んでいたが、練習を重ねるうちに、徐々にボードに乗れる生徒が出てきた。約1時間、生徒たちは何度も何度も挑戦し続け、少しずつ上手に乗れるようになっていった。とても楽しく過ごすことができた。

サーフィン体験の後は、コーヒーハウスに寄ってゆっくりとお茶をした。とても大きいクロワッサンがあり、みんな驚いていた。

## **〔5日目〕 8/2 (金)**

### **〈ビーチバレー講習会〉**

ビーチバレー講習会は、サーフィン体験をした場所と同じムーンライトビーチで行われた。ビーチに行く前に、ドーナツ店に寄ってドーナツを買った。たくさんの種類のドーナツやクッキーがたくさん並んでいた。みんなで広場のようなところに移動し、ドーナツを食べたあと、ムーンライトビーチへ移動した。ビーチの中にはビーチバレーのコートもあり、そこでインストラクターからの熱心な講習を受け、練習をした。サーブ、レシーブ、アタックと1時間ほど練習をしたあとに、ホストシスターやブラザーたちも参加し、みんなで試合をした。途中からはキッズチームの子ども達も一緒にビーチバレーをし、とても盛り上がった。



### **〈ピザ店での昼食〉**

この日の昼食は、ベスタワンというピザハウスで、みんなでピザを食べた。店内にはレトロな家具や雑貨、絵や写真などがたくさん飾られていた。また、ジュークボックスも置いてあり、生徒達はとても興味をもっていた。15人ほどで、ピザは4枚頼んだ。1枚のピザの大きさは日本のものよりもはるかに大きく、みんな口いっぱい頬張っていた。

### **〈ハイキング〉**

午後からはダブルピークパークでハイキングをした。緑がとても多く、木々は非



常に背が高かった。サンディエゴの景色が一望できる場所ということで、上からの景色は本当に美しく、町全体を見渡すことができた。また、住宅地に沿って歩道があったので、現地の住宅の様子も見ることもできた。日本とは違い、広い庭やプールがついている家がほとんどであっ

た。1時間ほど歩き、広場で休憩時間をとったが、そこに小さなアスレチックがあり、生徒はほとんど休憩もせずに、そのアスレチックで30分間ずっと遊んでいた。元気いっぱい遊びながら生徒の仲もより深まった時間だった。

## 【6日目】8/3(土)

### 〈ジャパンフェスティバル〉

午前中はそれぞれのホストファミリーとの自由時間だった。私はホストシスターと一緒に買い物へ行った。洋服店や文具店が集まっているシティーモールや、私が行きたいと言った100円ショップへ行った。アメリカの100円ショップは、日本のものに負けないくらい品揃えがよかった。しかし、品質は日本のもののほうがいいと、ホストファミリーは言っていた。

午後から、市の図書館でジャパンフェスティバルが行われた。図書館に入ると、日本文化を紹介するブースがいくつかあり、折り紙を体験している人たちやコスプレをしている人たちなどがいた。天草のことを紹介しているブースもあった。ステージでは、現地の方々が俳句、茶道、けん玉などの日本文化を発表していた。生徒も発表の機会をいただき、梅干し、せんべい、すごろく、福笑い、書道についてそれぞれ発表した。実際に日本から持ってきた梅干しとせんべいを試食してもらったり、書道を書いて見せたりした。事前に準備はしていたが、リハーサルの時間もなくて一発本番で発表をした。生徒たちは自分たちで考えた英語やジェスチャーを使い、笑顔で一生懸命に発表することができたと思う。会場にいたお客さんも、生徒の発表を温かく見守ってくれて、写真を撮ったり、発表後に生徒に話しかけたりしてくれた。天草の生徒の発表を聞くために来た、とおっしゃる方もいて、ありがたかった。



### 〈お別れ夕食会〉



全員で行う最後の活動だった。夕方から、生徒たちとホストファミリーが公園に集まり、それぞれに食事を持ち寄り、お別れ夕食会を行った。生徒はホストファミリーの手作りの料理を食べたり、みんなでエンシニタスでの思い出話をしたり、みんなでサッカーをしたりしながら、ホストブラザーやシスターたちと一緒に楽しい時間を過ごした。日が暮れてきて帰る時間になると、生徒たちはみな名残り惜しそうにしていた。夕焼け空がとても綺麗だった。

## 【7日目】8/4（日）

### ＜ホストファミリーとのお別れ＞

とうとう、約1週間お世話になったホストファミリーとのお別れの時が来た。朝9時に市役所へ集まり、それぞれに別れのあいさつをして、ロサンゼルス行きの車に乗りこんだ。とても親切に接してもらった分、ホストファミリーのおかげでそれぞれによい思い出がたくさんできたようで、生徒はみんな別れを惜しんでいた。私も、Janeen とのお別れはとても寂しかった。ホームステイ期間中、Janeen は今回の活動のサポートとして、ほぼ全ての時間を一緒に過ごしてくれたからだ。何から何までお世話になり、本当に感謝の気持ちでいっぱいである。最後に日本語で「じゃあまたね。」と笑顔で話してくれて、私は思わず泣いてしまった。車が出発すると、見送りに集まっていた人たちがずっと手を振ってくださっていた。

### ＜ロサンゼルス市内観光＞

エンシニタス市役所を出発したあと、車の中で生徒たちはとても元気がなかった。泣いている生徒もいた。それぞれにとっても有意義なホームステイをすることができたのだと思った。

約2時間移動し、ロサンゼルス市内に到着した。ドルビーシアター、チャイニーズシアター、ハリウッドなどを観光し、ガイドさんに説明をもらった。テレビでよく見たことのある景色を目の当たりにした。そのあと、ユニバーサル・スタジオ・ハリウッドへ行き、いろいろなアトラクション、ゲーム、買い物などを楽しんだ。日本のUSJとは違うね、と生徒たちは話をしていて。約5時間ユニバーサルスタジオで過ごし、そのあとはリトル東京にあるホテルへ移動した。チェックインをし、グリフィス天文台へ向かった。ロサンゼルス市内が一望できる大変有名な展望台で、多くの人が夜景を見に来ている。生徒たちも、美しい夜景を写真におさめていた。



## 【8日目】8/5（月）

### ＜ロサンゼルスを出発＞

朝8時半ごろホテルを出発し、途中でファーマーズマーケットに寄って買い物をした。10時半ごろにロサンゼルス空港に着き、ガイド兼ドライバーに別れを告げ、空港内で軽食をとったりおみやげを買ったりしながら過ごした。みんな、まだアメリカに滞在していたいという後ろ髪をひかれる思いで、午後1時ごろに搭乗手続き

をし、無事にアメリカを発った。帰りのフライトは行きよりも時間がかかり、11時間ほどだった。

### 〔9日目〕8/6(火)

#### 〈成田から福岡へ〉

夕方4時半ごろに成田空港へ到着し、そのまま福岡空港行きの飛行機に乗った。行きよりも荷物がものすごく増えて移動が大変だったが、午後8時過ぎに福岡空港に着き、福岡市内のホテルに1泊した。夕食はみんなでラーメン屋さんに行った。

### 〔10日目〕8/7(水)

#### 〈福岡から天草へ〉

ホテルで朝食を食べた。和食と洋食と選ぶことができたが、全員和食を選んだ。アメリカでの食事もおいしかったが、久しぶり食べるに和食を、みんなもりもりと食べていた。9時にホテルを出発し、途中休憩をとりながら車で天草へと向かった。車内では、生徒たちはみんな疲れがあるようだった。午後2時ごろに天草市役所へ着くと、保護者の方々や先生方、市役所の職員のみなさんがお迎えに来てくださっていた。大きな怪我や病気もせず、無事に帰ってこられたことに、ほっと安心した。



### 3 生徒たちの様子

6月末に初めて代表生徒6名と対面したときは、生徒たちはまだお互い知らない者同士で、全く打ち解けている様子もなく、上手くやっっていけるか少し心配していた。しかし、出発1週間前の事前研修で少しずつ話すようになっていたり連絡先を交換したりして、親しくなりつつあった。出発日も、最初の行きの車の中では沈黙が続いていた。だが、実際に10日間の研修を終えると、6人はいつの間にかとても仲よくなっていた。どこからそんなに仲よくなることができたのかは分からないが、6人それぞれの個性が見られる、1つのよい集団として活動することができた。最終日の福岡のホテルで朝食をとっているときに、「このクラスだったらいいなあ」と1人が言い、みんながその言葉に同調していた様子が見られた。このことが、10日間6人が全員で楽しく協力しながら過ごし、強い繋がりがもてた証のように感じた。

生徒の中には英語が話せる生徒、話すのが苦手な生徒といた。エンシニタスでネイティブの英語を初めて聞いたときは若干ひるんだようだが、ほぼ英語が話されている生活の中で徐々に耳も慣れていった。話していることが100%分からなくても、自分からコミュニケーションをとろうと行動すること、相手を理解し関わり合

おうとする気持ちが大切だということに気付くことができた。ホストファミリーも同じような気持ちでいてくれたと思う。だから、例え英語が上手く話せなくても、どの生徒もホストファミリーとよい関係を築くことができた。生徒6人にとって、この研修は、一生忘れられない経験になったことだろう。

#### 4 おわりに

私の初めての海外経験は、大変有意義なものになった。エンシニタスの方々はみなさんととても親切で、快く私たちを迎え、多くの体験のサポートをしてくださった。ホームステイ先でも、私を含めそれぞれの家庭で素敵なおもてなしを受け、ホストファミリーを始めとする多くの方々の温かさを感じることができた。私は、またいつか絶対にホストファミリーに会いに行きたい。

天草市とエンシニタス市との姉妹都市の関係は、昨年30周年を迎え、今年は31年目である。この30年あまりの期間というもの、決して短いものではなく、このように長年に渡り関係が続いているのも、お互いの市が共によい関係を築き発展していこうという思いがあるからだと思う。相手を理解し、コミュニケーションを取り合い、学び合い、生徒同士、市民同士の交流を深めていく過程を、身近で感じることができた。今回このような機会をいただけたことを本当に嬉しく、有難く思う。天草市、エンシニタス市、全ての関係者に深く感謝したい。



また、初めて日本の外に出てみて、今更ながらますます海外や英語に興味をもった。もっと色々な場所へ行っておくさんの経験をしたい、もっと英語を学びたい、そして他国を知ることの楽しみや英語学習について、生徒たちにもっと伝えていきたいと感じると共に、自分の教師としての志を改めて高くもつことができた。今回の研修に参加させていただいた代表生徒6名と私は、貴重な体験をさせていただいた分、この経験をこれから自分の周りへ発信し、伝えていく義務があると思う。特に私は英語教師としての目線から、天草の今後の英語教育、国際理解教育の発展のため、尽力していきたい。

Naomi Furuta  
English teacher  
Goshoura Junior High School  
Amakusa

Sister City Educational Exchange Project  
Report on the Student Delegation to Encinitas; Sister City of Amakusa

1 Introduction

I'm an English teacher, but I have never been to any foreign countries before. I didn't think that it was a big problem for me. However, many English teachers around me have had the experience of being abroad, so I was wondering about myself being in the position of an English teacher. Out of all teachers, I heard about the supervising teacher of this project. At first, I was very nervous because I didn't have any confidence, but I thought that I had to use this chance for my own benefit, so I decided to participate.

Before I went to Encinitas City, I was feeling both anxious and excited, but when I finished the project, I only remember the fun things. Each day was new for me, and the 10 days I was there was a well of discoveries. It was very exciting and wonderful. Many people in Encinitas gave us plenty of support, so the 6 delegation students and I had a very precious experience. This summer became the most special one in my life.

Encinitas City is in California, the United States of America. It takes about two hours by car from Los Angeles. There are many high buildings in Los Angeles and it's a very big city, but Encinitas is quite different, and has good security. Its population is about 60 thousand. It rarely rains all year round and is very comfortable to live in. Even in summer, I felt it was cool in the early morning and at night. Its cityscape is very beautiful, too. There are some large beaches nearby, and

each big street has various kinds of shops such as supermarkets, surf shops and restaurants. I heard that surfing and yoga are popular in Encinitas, furthermore, many people were running along the street. I saw people taking their dogs for a walk, too. Once we separated from the main street, we found a quiet residential area. My homestay house was in this area. It takes less than 5 minutes from the house to the City Hall and main street by car, so I thought the place was convenient for living. Because there are many trash cans along the street, there is no trash on the road. The people are very kind and warm, and they all are interested in Japan and Japanese people. Thanks to the support of many people, we were able to have a very fulfilling life for 10 days. I'm going to state my experiences with the students in chronological order.

## 2 Activities in Encinitas

### **[The first day] July 29<sup>th</sup>**

#### **<Departure from Japan ~ Entry into America>**

We gathered at Amakusa City Hall at 7 a.m. Families and teachers of the delegation students saw us off. In the car going to Fukuoka Airport, the students were quiet because of their nervousness or sleepiness. They did not get along with each other yet at that time. When we got to Fukuoka Airport, we ate lunch. We had to board the plane going to Narita Airport at 13:40, but the airplane had something go wrong, so the boarding and takeoff time was drastically delayed.

After we got to Narita airport, the time to leave for Los Angeles was soon, so we did the departure procedures quickly, ran through the airport, and boarded the airplane in a hurry.

The flight was about ten hours. We ate the in-flight meals twice and took a nap. After a while, when I looked out the window, the scenery of America was far and

wide. We landed and got off the airplane. We walked in Los Angeles Airport for a while, and found a very big American flag over an elevator. I heard that this airport is the fourth biggest in the world. We used a machine to take an entry screening. The machine showed some questions to us and took a picture of our face. After using the machine, we undertook the entry procedures with an officer. Everyone entered to America safely.

#### **<After arriving at Los Angeles Airport>**

The man who was in charge of guiding and driving us was waiting for us. He took us to McDonalds for lunch. This was our first meal in America. The menu, how to pay money, self-service of drinks, and the size of the food were different from Japan. After lunch, we went to Encinitas City Hall by car, it took about 2 hours.

#### **<Our first encounter>**

When we got to the City Hall, many staff workers and our host families welcomed us with a smile, waving a handmade banner and providing many cookies and drinks. The mayor gave a welcome speech for us. After that, the students met their host families for the first time and went to their houses. My homestay was Janeen's house, and she was my host mother. She took part in this project last year as a supervising teacher and came to Amakusa. She welcomed me gently. We went shopping on the way back home from the City Hall. When we got home, she showed me my room. It was like a fashionable hotel. I was surprised by that. Some snacks, candies, and necessary things for spending time there were prepared carefully, so I was very glad.

#### **[The second day] July 30<sup>th</sup>**

#### **<Visiting the City Hall>**

We spent our time with each host family in the morning, and we gathered at the City Hall in the afternoon. We greeted the mayor again and one of the students gave



her a letter from Mr. Nakamura, the mayor of Amakusa City. The mayor explained about the congress in Encinitas. We could look around the City Hall, too. The Encinitas City Hall is divided into rooms. Each staff member of the city hall has their own rooms and works there.

#### **<Tour of Encinitas downtown>**

After visiting Encinitas City Hall, We walked around the downtown of Encinitas, and visited many places. First, we took some pictures in front of the Encinitas doorway sign and we were interviewed by the local newspaper company. We went to the old movie theater and went up to the stage. Then, after walking for a while, we visited the Old Schoolhouse, the oldest school in Encinitas. We entered the classroom, and sat down. We listened to any explanation about the history of Encinitas. Next, we visited the Boat Houses. They were used as real boats before, and now, people live inside of them. There are many famous and rare places in Encinitas. In the Self Realization Gardens, there were a lot of beautiful flowers and trees. The guide told us to walk silently while we going up to the slope. When we reached the site which had a good view, we enjoyed looking around the big sky and sea, and I felt very calm. Then, we walked through the downtown again. On the way, we found a big colorful sign which said “Welcome”, and had some buildings drawn with the pictures of Mt. Fuji, sunflowers, and so on. We took pictures in front of these. At last, we went to the gelato shop, ordered our favorite dessert, and enjoyed eating on the terrace. The people we met during the tour were all friendly. There were many trees and flowers along the street and shops, so we felt the beauty of the cityscape.

#### **[The third day] July 31<sup>st</sup>**

#### **<Free time with host family>**

I heard each student enjoyed cooking, watching baseball games, going to the beach and so on with their host families. My host mother took me to “Sea World” in

San Diego. This is the place which includes an aquarium and an amusement park. We saw many sea animals, rode a roller coaster, and took a picture. We had a great time all day long. There were many guests ranging from children to adults. We didn't have time for lunch, so instead, we walked around beating an apple. It was my first time doing so. Other people did, so I thought that it was an American style.

**[The fourth day] August 1<sup>st</sup>**

**<Horseback riding>**

We went to the Horse riding park in Olivenhain. One woman explained how to touch and brush horses. Then, we rode them. The horse we rode was mild and walked slowly. Even so, I felt a little scared. The food for horses was like a cookie, and the students tried to feed the horses.

**<Surfing>**

We went to the Moonlight Beach and enjoyed surfing. Moonlight Beach is close to the Encinitas City Hall and many people always go there. People in Encinitas go to the beach after work on weekdays, and enjoy surfing. The good waves came all the time. Our instructor recommended that we wear wetsuits, but it was hard for students to put them on. We were taught how to surf by instructors, and instantly tried it. For all the students, it was their first time, so they couldn't stand on the board at the beginning, but gradually they progressed and some of them could handle it pretty well after a short time. They enjoyed it for about an hour.

After surfing, we dropped by a coffee shop. Eating sweets and drinking coffee or tea, we talked. Students were surprised to see such big croissants being sold.

**[The fifth day] August 2<sup>nd</sup>**

**<Beach volleyball>**

A beach volleyball training lesson was held at the same beach as the surfing spot.

Before we went there, we visited the donut shop and ate donuts in the square. Then, we went to the beach. There were beach volleyball courts there. At first we practiced beach volleyball under the instructor's advice. They practiced for about an hour. After that, the students' host brothers and sisters joined in and played some games. Halfway through, the children in the kids' beach volleyball team also joined, and they enjoyed it very much.

#### <Hiking in Double Peak Park>

We went hiking in the afternoon. The nature was very nice. The scenery from the hill was very beautiful, and we could look over the area of San Diego. After we walked for an hour we had a break. There was an athletic playground in the park, and students played in it for 30 minutes. They didn't take a break. They played well together, and their relationship deepened.

#### **[The sixth day] August 3rd**

##### <Japan festival>

In the morning of the sixth day we had free time with each our host families. I went shopping with my host sister. She took me to a clothes shop, stationery shop, and so on. Furthermore, I went to a "Dollar shop". It was the shop I wanted to go to. I wanted to compare it with the Japanese "100 yen shop". There were a lot of goods and the assortment was good, but my host family said that the quality of Japanese "100 yen shop" goods are much better than American "Dollar shop" ones.

In the afternoon, we took part in a Japan festival in the Cities Library. There were some exhibition booths to introduce Japanese culture. Some people were trying *origami*, and cosplaying anime characters. There was also a booth introducing Amakusa. On the stage, Americans were having some presentations such as *haiku*, tea ceremony, *kendama*, and so on. We also had an opportunity to present Japanese

cultures. The students presented 5 things, *umeboshi*, *senbei*, *sugoroku*, *fukuwarai*, and calligraphy. They brought *umeboshi* and *senbei* from Japan, and audience tried them. Girls actually did calligraphy on the stage. We had a meeting in Amakusa before visiting Encinitas, but we had no rehearsal on that day. The students had a great presentation by speaking English and using gestures. The audience listened to their presentation carefully and talked to the students after the presentation. Some Americans told them that they came to the festival just to listen to the students' presentation, they were very thankful.

#### **<Farewell party>**

The farewell party was the last activity done by everyone in Encinitas. In the evening, students and host families gathered in the park with some dishes. Everyone had some meals cooked by the host families, and talked about their memories in Encinitas. Students also enjoyed playing soccer. We had a good time. When the sun was setting and it was time to go home, the students looked reminiscent. The sunset sky was very beautiful.

#### **[The seventh day] August 4th**

##### **<Farewell with host families>**

At last, the time for farewell with our host families came. We gathered at the City Hall at 9 a.m. and said goodbye each other, then got in the car. We were very sad because our host families were very kind and we had made many wonderful memories with them. All Students were unwilling to part from their host families. Of course, I didn't want to leave, too. My host mother, Janeen supported us for most of our activities, so I was always with her during my homestay. I'm full of feelings of gratitude. She said "*jyaa-matané*" to me with a smile. I could not help but crying. When the car started to leave everyone who gathered to see us off were waving their

hands until we left the City Hall.

**<Sightseeing of Los Angeles>**

After leaving from Encinitas, the students looked down and some students were crying. By seeing this situation, I thought that every student had a good homestay experience.

It took about 2 hours, but we got to Los Angeles city. We visited the Dolby Theater, Chinese Theater and Hollywood. After that, we went to Universal Studios Hollywood and enjoyed some rides, games, shopping and so on. We were there for about 5 hours, then we headed to the hotel in Little Tokyo. In the evening, we visited the Griffith Observatory. This is a famous observatory, and the nightscape was really beautiful. Everyone took pictures.

**[The eighth day] August 5th**

**<Departure from Los Angeles>**

We left the hotel at about 8:30 in the morning, and dropped by the farmer's market to buy some goods and gifts. At about ten o'clock, we got to the airport and said goodbye to the driver. We had a light meal there. Everyone wanted to stay in America more, I felt. After 1 o'clock, we boarded our flight and left.

**[The ninth day] August 6th**

**<From Narita Airport to Fukuoka Airport>**

We reached Narita Airport at around 4 p.m. and changed airplanes to go to Fukuoka. It was hard for us to carry more baggage than when we first arrived. We arrived at Fukuoka Airport and went to a hotel in Hakata. We had ramen for dinner.

**[The seventh day] August 7th**

**<Departure from Los Angeles>**

We had breakfast at the hotel. There were Japanese and Western style meals on the menu. Everyone chose the Japanese ones. Of course the dishes in America were

so delicious, but as we wanted to have a Japanese meal after such a long time, everyone ate a lot and became full. We left the hotel at 9 a.m., and headed to Amakusa by car. The students looked a little tired. After 2 p.m., we arrived at the City Hall in Amakusa. Students' families, teachers and the City Hall staff were there, welcoming us. I felt relieved to come back with everyone in one piece and healthy.

### 3 Students' growth

The 6 students met for the first time in the end of June. They didn't know each other at all, and they were shy. I was worried that they weren't going to get along with, but we had an advance meeting one week before departure where everyone became friends.

After finishing this 10-day-program, they became very good friends. I don't know when they made such a relationship, but each of their characters was shown well, and they are a great group now. The students' connection has become much stronger than when they first met.

Some students can speak English, and others are not good at speaking it. When they listened to native American English in Encinitas for the first time, they felt a little nervous. But as they were listening to only English, their ears got accustomed to it. The students understood that to communicate positively is the most important thing even if they do not understand the meaning of the spoken English. Their host families had the same feelings, so everyone built a great relationship. For the students, this project must be a precious experience they will never forget.

### 4 Conclusion

My first experience being abroad was extremely meaningful for me. All of the people in Encinitas were very kind and welcomed us very warmly. They all said to us

with a smile, "Let's enjoy the Encinitas life style. You don't have to worry about anything." I want to say thank you from the bottom of my heart and I will definitely visit my host family someday in the future. The relationship between Encinitas and Amakusa as sister cities has continued for over 30 years. This period is not short. Each city wants to build a good relationship and develop together, so we joined this project. I could see and discover the process of understanding, communicating, and learning about each other through this project. I am very grateful to have such a special chance. We appreciate all the people involved so much.

Moreover, when I went out of Japan for the first time, I became interested in traveling overseas and English more. I'd like to go to more foreign countries and places, and have a lot of different experiences. I also want to learn English more, and teach my students the joy and fun of knowing about other countries. I could have higher aspirations as an English teacher. I spent a wonderful time in America, so I have to give back my learning to everyone around me. I think it is my duty. I'll try especially hard for English education and international understanding education in Amakusa through the eyes of an English teacher. Thank you.

July 30<sup>th</sup>



Aug 1<sup>st</sup>





Aug 2<sup>nd</sup>



Aug 3<sup>rd</sup>



★帰国報告会 【令和元年8月19日（月）】







天草市教育委員会

教育総務課